

臨床研究情報

【研究課題名】

血液悪性腫瘍症例における腸内細菌科細菌菌血症の臨床疫学調査

【研究機関】

京都大学

大阪赤十字病院 他 11 施設

【研究責任者】

当院責任者 今田 和典

研究責任者 一山 智

【研究の目的】

大腸菌などの腸内細菌は、病院内で重篤な細菌感染症を引き起こす最も頻度の高い病原体です。近年、これらの細菌において抗生物質が効きにくい薬剤耐性菌が増加しているため、治療に難渋する場合があります。白血病やリンパ腫などの血液疾患を持つ患者さんは特に免疫力が落ちるため、注意が必要です。

そこで、腸内細菌が検出された血液内科に入院する患者さんについて、治療経過を詳しく調べるとともに、菌の解析をすることで最適な治療薬や治療薬への耐性の仕組みを調べるのがこの研究の目的です。

【研究の方法】

2005年1月から2019年12月に血液から腸内細菌が検出された血液疾患を持つ患者さんに協力をお願いしています。

患者さんの病状、治療経過などの情報のほかに、通常の診断で使われた細菌を用いて菌の特徴を調べる分析などを行います。

【個人情報の取り扱い】

個人が特定されるような情報は一切使用せず、公表されることもありませんが、患者さんが特定できないようにした上で、研究の成果を論文、学会発表という形で公表する予定です。

【問い合わせ先】

大阪赤十字病院 血液内科部 今田 和典

〒543-8555 大阪市天王寺区筆ヶ崎町 5-30

TEL 06-6774-5111 FAX 06-6774-5131